



高橋町長に成人としての決意表明を述べる廣田晴久さん

矢巾町成人式が1月7日、田園ホールで行われ、成人者338人のうち269人が出席。初々しいスーツ姿や晴れやかな振袖姿の新成人が、大人としての誓いを新たにしていきました。

式典で高橋町長は「皆さんが思い描く夢実現のために、常に前進していく心を持つてほしい」と一言専心の言葉を贈りました。また、新成人を代表して廣田晴久さん（室岡地区出身）が「自信を持って行動し、仲間と協力して、自立できるように経験を積みみたい」と決意を述べ「感謝と覚悟、自覚を胸に成人として歩んでいきます」と誓いました。

感謝と覚悟、自覚を誓う 町民338人が大人の仲間入り

まちの話題 あれこれ

身の回りに起きた出来事など、
楽しい情報をお寄せください。

役場企画財政課
(☎ 611-2724)



田園ホール前では友人と記念撮影や近況を語り合う新成人



町内の保育園児もステージに上がり、一緒に歌を歌いました



『神の御子は』など6曲のクリスマスソングを披露する不来方高校音楽部の皆さん

田園ホール（指定管理者 東北共立・寿広グループ）で12月17日に「親子で楽しめるクリスマスコンサート」を今年も開催し、町内保育園児や家族連れなど903人が鑑賞しました。

不来方高校音楽部が出演し、童謡やアニメ曲、クリスマスソングなど全20曲を披露しました。全国最高峰の歌声と幻想的なステージ演出に、観客の皆さんは楽しいひと時を過ごしました。

ふどうこども園の長谷川月優ちゃん（6歳）は「ステージの上でみんなと一緒に歌を歌うのが楽しかった」と笑顔で話しました。

親子で楽しめるステージ満載 今年も開催クリスマスコンサート



障がい者福祉施設の落成式

12月13日、社会福祉法人新生会は障害者の就業訓練や相談を行う「あさあけの園・しんせい」の落成式を又兵衛新田の現地で開催。関係者約70人が参加し、障がい者福祉の充実を願いました。



街路灯寄贈で安全安心なまちを

東北電力株式会社盛岡営業所と株式会社コアテック盛岡営業所は12月19日、安全安心なまちづくりのために街路灯10基を町へ寄贈。

昭和43年から街路灯の寄贈が始まり、寄贈総数は今回を含め207基となりました。



農業を家族一丸で家族協定締結

12月20日、畠山耕一さん(間野々)、沼田弘美さん(南煙山)、中村憲吉さん(上赤林)が、「家族経営協定」を締結。農業や生活での役割分担などを定め、農作業環境の改善と家族の経営参画について意識を新たにしました。



町のシンボル「南昌山」を背に
分列行進をする消防団

矢巾町消防団(藤原由巳団長)の平成30年出初め式が1月7日、矢巾ショッピングセンター駐車場で行われました。
多くの地域住民が見守る中、消防団員ら約230人と消防車両17台が、やはばーく前から会場までを力強く行進。式典では統監の高橋町長が「安全安心なまちづくり実現のため、より一層精進してほしい」と訓示。藤原団長は「消防団員の確保とポンプ操法大会全国大会出場を果たしたい」と新年を迎え、抱負を話しました。
人員や車両の観閲を受けた消防団員は、安全安心なまちづくりを目指して決意を新たにしていました。



お雑煮を食べる園児たち

JAいわて中央もち米生産部会矢巾支部(高橋信榮支部長)は12月28日、毎年恒例のお供えを町に贈呈。もち米62^キを使った2段重ねの特大鏡もちが、1月4日まで役場玄関に飾られました。贈呈式の後には、こずかた保育園(藤原祐子園長)の年長児20人が参加してもちつきをしました。
また、1月10日には同園で鏡開きが行われ、園児たちは藤原園長から鏡開きの由来を聞いた後、高橋町長らと一緒に雑煮をいただきました。丸山紗加ちゃん(6歳)は「おいしいお餅を食べたので、元気に過ごせます」と話しました。

南昌山を背に威風堂々の行進
町消防団出初め式で決意新たに

もち米62^キの特大お供えを贈呈
一年の幸せと健康を願い鏡開き